

# 年度別事業状況

〔昭和57年より〕  
〔平成3年まで〕

## 昭和57年度事業

### 1. 社団法人千葉県看護協会の設立総会開催

昭和57年7月8日、千葉県医療センターに於いて設立総会を開催した。出席者数は委任状を含む3855名で総会成立条件を充たすことが出来た。提出議案について承認され滞りなく設立総会を終了した。

### 2. 法人設立の申請及び登記

設立総会終了後、7月23日付をもって法人設立申請書を千葉県知事宛に提出した。その後、8月7日付をもって公益法人設立許可書が中野副知事名によって交付された。

この設立許可書及び必要書類を添えて千葉地方法務局に法人の登記申請書を提出し8月18日登記を完了し、一切の手続きを終って名実共に千葉県看護協会が誕生した。

### 3. 運営に関する事項

理事会は6回開催されているが支部と2本建の運営であること及び創設早々のことで充分機能することができなかつた。委員会は支部と重複することをさけナースバンク運営委員会のみで発足した。

### 4. ナースバンク事業（千葉県看護研修所内）

潜在看護婦実態調査、離職状況調査、需要調査等を行い有資格者の掘り起しを行う。未就業看護職員の講習会を年一回、5日間開催して当面必要な知識と技術について臨床実習を交えて就業への動機づけを行った。本年10月、改めて県看護協会委託事業となった。

### 5. 無料職業紹介事業

県看護協会事業として申請替を行い11月1日付にて労働大臣より許可された。

看護職員の求人、求職に関する紹介を主とし、年間実績は別掲のとおりである。

### 6. 保健知識の普及事業

第9回千葉県看護大会（県共催）57年12月1日（於 県文化会館小ホール）

1. 知事表彰（看護功労賞10名、看護精励賞10名）
2. シンポジウム………老後の幸せのために
3. 看護を志さず高校生の進路相談コーナー、
4. 看護用具の展示等を行う

### 7. 広報出版事業

会報「看護ちば」創刊号発刊 昭和57年10月

千葉県看護協会の設立を機に「看護ちば」を発刊することになった。同時に支部は「暖流」を改め「支部だより」創刊号を発刊した。

## 昭和58年度事業

### 1 保健知識の普及に関する事業

- 1 第10回 千葉県看護大会（県共催）58年11月15日 於千葉県教育会館

参加者438名

1. 知事表彰（看護功労賞10名、看護精励賞10名）
2. 特別講演（21世紀の医療と看護）NHKチーフディレクター 行天良雄先生
3. 新県民体操（菜の花体操）
4. 看護を志さず高校生の進路相談
5. 看護用具工夫展（会員の工夫された各種の看護用具を展示する。）

- 2 看護週間行事、県共催による1日看護婦の実施

期 間 58年7月～8月

実施施設 32施設 延 41施設

参加校 146校 延 188校

参加生徒数 1,028名

- 3 電話相談事業～赤ちゃん電話相談の開設（昭和59年2月1日）

開設準備 事業要綱の作成 担当職員の募集、必要物品の整備等

- 4 第5回千葉県県民の看護婦表彰（3名）

千葉サンケイ新聞社主催

表彰者 美濃部 みはる 国立国府台病院

椎 名 きみ子 浅井病院

林 美 恵 千葉市桜木園

### 2 ナースバンク事業

潜在看護婦実態調査、離職状況調査、需要調査等を行い有資格者の掘り起しを行う。

未就業看護職員の講習会を年一回、5日間開催して当面に必要な知識と技術について臨床実習を交えて就業への動機づけを行っている。

### 3 看護婦等無料職業紹介事業

看護職員の求人、求職に関する紹介を行っている。

事業実績は別掲のとおりである。

### 4 高校生進路相談事業

この相談会は本会の行うものと企業の行うものがある。これには役員、理事、専任教員等が相談員として出席している。開催地は主として、千葉市、船橋市、柏市、松戸市、

館山市等である。又各高等学校に於て開催するときもあり、地区理事、病院、看護学校等より協力を受けている。企業名は、日本リクルートセンター、中央企画センター、千葉日報社、昭栄広報社等である。

回数 春期 12日 秋期 8日 計20日

20会場 相談生徒数 約300名

## 5 教育事業

県より委託された教育事業は、地域看護、成人看護、母性看護、小児看護、看護研究発表会、保健婦業務検討会の6項目であり研修会の延日数は12日間である。

この中で地域看護は関東ブロックの研修会と合わせて行った。

## 6 広報出版事業

会報「看護ちば」を年4回発刊した。法人組織としての千葉県看護協会の活動状況を出来るかぎり詳細にお伝えして来たつもりであるが、これには支部広報出版委員会が企画、発刊、発送のすべてを受持って頂いた。

1. 会報「看護ちば」発刊 (第2号 昭和58年7月) (第4号 昭和58年12月)  
(第3号 昭和58年10月) (第5号 昭和59年3月)
2. 「千葉県看護協会のしおり」発刊 昭和58年8月1日
3. 「看護会館の建設に向けて」パンフレット発刊 昭和58年10月30日

## 7 訪問看護事業

老人保健法が市町村事業として位置づけられたのを機会に、職能団体として訪問看護に従事する看護職員を育成する目的でこの事業を行うことになった。

県もこの趣旨を理解されてご協力をいただいた。

受講対象は、市町村に働くパート看護職員及び潜在看護職員とした。

第1回訪問看護従事者講習会実施(昭和59年2月14日～15日)

## 8 看護会館建設事業

昭和58年度総会終了後、看護会館建設委員会が設置され役割分担を決め活動することになった。会員に対する建設構想の徹底及び資金調達について検討し行動を開始した。

## 昭和60年度事業

### 1 保健知識の普及に関する事業

- 1 第12回 千葉県看護大会（県共催）昭和60年11月6日 於千葉市民会館大ホール

参加者 409名 標語 すこやか人生、看護がおとも

- (1) 知事表彰（看護功労者10名、看護精勤賞10名）
- (2) 映画（房総の四季）
- (3) 特別講演（いのちについて一詩に表現された生のすがた）

詩人 べっしょ ちえこ先生

- (4) 看護進路相談（看護を志す方々の看護学校への進学相談） 44名
- (5) 健康相談（お母さんの問題、赤ちゃんの問題、性の悩み、家族計画）
- (6) 家庭看護実演（あなたもやってみませんかーねたきり者のお世話のしかた）

- 2 看護週間行事、県共催による高校生対象の1日看護婦の実施

期 間 昭和60年7月より9月まで 延日数 36日

実施施設 25施設 参加校 155校

参加生徒数 1569名

- 3 地域住民対象の看護活動（各地区において保健医療機関主催の健康展に参加）

- 4 電話相談事業（赤ちゃん電話相談）

- 5 第7回千葉県民の看護婦表彰（3名）

千葉県サンケイ新聞社主催

表彰者 鈴木みち 国保成東病院

筒井千枝 国立千葉病院

戸丸千里 千葉労災病院

### 2 ナースバンク事業

- 1 ナースバンク登録者カードの整理

- 2 未就業看護職員に対する呼びかけを行う（年3回）県民だより、テレビ、千葉日報に記事掲載

- 3 看護職員離職状況調査を行い就業可能なものに働きかける（年2回）50床以上の施設対象

- 4 看護職員需要状況調査を行い運営に反映させる（年1回）

- 5 ナースバンク登録者研修会の開催（就業の動機づけのため5日間開催）

- 6 ナースバンクだより発刊（年2回5,000部）

### 3 無料職業紹介事業

- 1 看護婦等求職者に対し、求職票の就業希望条件にそって面接及び電話相談を行い、就業先を紹介する。
- 2 看護婦等の求人者に対し、求人票に雇用条件の記載後面接及び電話相談を行い、求職者を紹介する。
- 3 運営の円滑化を図るため、求人者、求職者の登録票を整備する。

### 4 高校生進路相談事業

昭和60年度は6企業が主催する相談会に参加し、582名の相談者があり、相談内容も具体的となり自身の能力の程度を明確に評価しての相談となっており担当者としても責任が重く具体的な対応に当たった。本会が主催する看護大会での相談数は例年のこと乍ら余り多くはなかったが、相談者の反応は好評であった。

### 5 教育事業

県より委託された教育事業は、地域看護、成人看護、母性看護、小児看護、看護研究発表会、保健婦業務検討会をそれぞれ効果的に終了した。特に成人看護については在宅ケアの技術指導に焦点をしばり好評であった。

### 6 広報出版事業

会報「看護ちば」3回発刊。

本年度は主に会館建設進捗の状況をお知らせしてきたが、そのすべてを支部広報委員が担当された。

(第9号 昭和60年7月)(第10号 昭和60年12月)(第11号 61年3月)

### 7 訪問看護事業

千葉県看護協会として、将来訪問看護事業を委託事業として位置づけてゆきたいとの構想のもとに活動方針を設定した。

#### 1 基礎調査の実施

(1)市町村訪問指導状況調査

(2) 未就業看護職に対する訪問看護の関心度調査

#### 2 調査結果をふまえ、実施可能な分野から具体策を検討した。

(1) ねたきり老人を抱える家族の電話相談開設への準備

(2) 未就業看護職者を対象に訪問看護研修会を開催し将来にそなえる。

(3) 山梨県の訪問看護事業の実状調査

### 3 無料職業紹介事業

- 1 看護婦等求職者に対し、求職票の就業希望条件にそって面接及び電話相談を行い、就業先を紹介する。
- 2 看護婦等の求人者に対し、求人票に雇用条件の記載後、面接及び電話相談を行い、求職者を紹介する。
- 3 運営の円滑を図るため、求人者、求職者の登録票を整備する。

※ナースバンク事業及び無料職業紹介事業の実績は別掲

### 4 看護進路相談事業

昭和61年度の進路相談事業は「一日看護婦事業」と言う名目で県の委託事業となった。高校側としては従来の白衣を着る体験学習のイメージが強く更に看護協会としては委託の初年度にあたり、対応に不十分な点があったため予想する結果は得られなかった。

進路相談は、毎週木曜の午後と第2、第4の土曜日の午後、看護会館で開設した。更に10地区において相談会を開催して来館出来ない生徒の便を図った。

### 5 教育事業

県より委託された教育事業については本年より会場探しの苦勞もなく、最適な環境のもとで、地域看護、成人看護、母性看護、小児看護、看護研究発表会、保健婦業務検討会をそれぞれ効果的に終了した。

### 6 広報出版事業

会報「看護ちば」3回発行。総会予告号 1回発刊

本年度は地区部会活動、委員会活動等を主に編集した。

(第12号 昭和61年8月)(第13号 昭和61年10月)(第14号 昭和62年1月)

### 7 訪問看護事業

将来訪問看護事業の実施に具えてその第1段階として「老人看護電話相談」を開設することとし、本年をその準備期間とした。

#### 1 基礎調査の実施

- (1) 静岡県看護協会相談事業状況視察
- (2) 市町村資料の収集
- (3) 日本看護協会主催の訪問看護経験交流会及び研修会に参加

#### 2 実施可能な分野から具体策を検討した。

- (1) ねたきり老人を抱える家族の電話相談開設への準備

(2) 未就業看護職員を対象に訪問看護研修会を開催し将来にそなえる。

3 第4回訪問看護従事者講習会実施（昭和62年1月20日～21日）

会館和室においての実技研修は非常に効果的であった。

8 看護会館建設事業

前年度のに建設委員会に於いて、外構工事、事務所移転、竣工式、祝賀パーティ等について検討しているので61年度における委員会活動は少ない。

5月13日の竣工式には委員全員がそれぞれの役割を分担して協力した。

その後の小工事については理事会に計り実施して来たが一応建設委員会としての役割を終了したと考える。

9 千葉県及び関係機関からの委員の委嘱

千葉県民間医療看護対策委員会委員	浅野花子
千葉県婦人問題懇話会委員	實川美奈
千葉県民の看護婦選考委員会委員	赤井つる
千葉県准看護婦試験委員会委員	小川知恵子
保健医療社会学アジア地域会議組織委員会委員	赤井つる
千葉県地域ぐるみ福祉推進計画策定懇談会委員	赤井つる
千葉県母性衛生学会理事	赤井つる
千葉県痴呆性老人問題研究会委員	赤井つる
千葉県小児保健協会理事	大藪智子
	石井トク
	中尾アヤコ

## 昭和62年度事業

### 1 保健知識の普及に関する事業

- 1 第14回 千葉県看護大会（県、日助共催）昭和62年11月11日 於 千葉県看護会館  
参加者 514名 標語「観てふれて、今日も笑顔で気くばり看護」

- 1 知事表彰（看護功労賞10名、看護精励賞10名）
- 2 映画（房総の四季）
- 3 記念講演 日本語の魅力 武蔵野女子大学教授 金田一春彦

- 2 老人看護月間行事 テーマ「お年寄りが自立して暮らせるための地域サポート」

参加者 489名 昭和62年9月5日 千葉県支部と共催

- (1) 実演コーナー 体力測定 腰痛体操 家庭介護法
- (2) 相談コーナー 健康相談 看護相談
- (3) 展示コーナー 家庭看護用品展示

- 3 地域住民対象の看護活動 各地区における健康相談 介護実演等を担当

- 4 千葉県主催の婦人フォーラムに協力、看護用品展示、看護相談を担当

(63年2月17日)

- 5 千葉市主催のヘルスパイオニア事業に協力、看護相談、看護実演等を担当

(62年11月)

- 6 電話相談事業

本年7月訪問看護事業に資する目的をもって老人看護電話相談を開設した。

赤ちゃん電話相談

老人看護電話相談（相談状況は別表による）

- 7 千葉県社会福祉協議会家庭奉仕員講習会に講師派遣（155時間）

- 8 第9回千葉県民の看護婦表彰（3名）

千葉サンケイ新聞社主催

表彰者	金 箱 千代子	国療松戸病院
	山 田 千枝子	千葉社保病院
	石 津 金子	国保小見川病院

### 2 ナースバンク事業

- 1 ナースバンク登録者カードの整理
- 2 未就業看護職員に対する登録の呼びかけ  
(県民日より、千葉テレビ、千葉日報に記事掲載)
- 3 保健所及び市長村にリーフレット配布
- 4 看護職員需要調査



- 5 ナースバンク登録者講習会の開催（千葉、松戸地区でそれぞれ5日間実施）
- 6 ナースバンクだよりの発刊 年2回（62年9月、63年3月）

### 3 無料職業紹介事業

- 1 看護婦等求職者に対し、求職票の就業希望条件にそって面接及び電話相談を行い、求職者を紹介
- 2 看護婦等の求人者に対し、求人票に雇用条件を記載して貰い、面接及び電話相談により、求職者を紹介
- 3 運営の円滑を図るため、求人者、求職者の登録票を整備する  
（ナースバンク事業及び無料職業紹介事業の実績は別掲）

### 4 看護進路相談事業

実施2年目を迎え、実施に先立ち、高校の教頭会議、進路指導担当教師会議に於て、主旨説明を行った。看護会館で開催する相談会は常設とし、専従担当員により毎週月曜日、木曜日の午後とした。更に高校の夏休み期間に集中する対象者のためには11地区支部に於て開催し、便宜を計った。その他企業で行う相談会にも、近くの会員の協力を得て積極的に担当した。

### 5 教育事業

県より委託された教育事業については、出来るだけ会員のニーズに応えるよう会員の要望、研修後のアンケートを重視して実施してきた。地域看護、成人看護、母性看護、小児看護、訪問看護、看護研究発表会、保健婦業務検討会を終了した。

### 6 訪問看護事業

- 1 昭和61年度末に県医師会の助言を参考に、「老人看護電話相談」を62年7月に発足させた。毎週火曜日、金曜日を相談日とし専従者を配置した。
- 2 第5回訪問看護従事者講習会実施（昭和63年1月21日～22日）
- 3 日本看護協会主催の訪問看護推進検討会での内容を中心に委員会としての今後の活動方針を検討した。

### 7 千葉県保健医療計画案の検討

計画案に示されている内容を検討し、看護職に関する問題点を明らかにして看護職能団体としての考え方を打ち出す必要があることを理事会で確認し、62年12月18日検討委員会を発足させた。以後4回の討議を行い、県下の保健・医療施設・看護職員の分布状

況の資料を参考にしながら、計画案の実施に伴い、看護職員の質と量の面での見直し、看護教育施設の増設、地域住民への対応としての体制構想等、特に小規模町村での看護力をどう考えるか、医師の指導が十分に受けられる体制になっているか、一応の疑問点を抽出した。

尚細部に亘っての検討については63年度も引きつづき行い、将来に向けて、看護団体としての要望をすることとなった。

## 8 広報出版事業

会報「看護ちば」3回発刊。総会予告号 1回発刊。

(第15号 昭和62年8月)(第16号 昭和62年10月)(第17号 昭和63年1月)

## 9 看護会館運営事業

- 1 内規検討委員会により、現行内規についての見直しを行っている。
- 2 職員給与検討委員会で、57年以来の給与表の改正を行った。
- 3 看護団体として功績顕著な会員に対しての表彰規定を作製
- 4 会員拠金完了バッチ追加 1,000個
- 5 新理事の法務局届出を行う
- 6 不動産取得税減免措置(税額6,412,280円)全額免税(62年9月22日付)
- 7 消防管理者講習会受講(62年6月15日～16日)赤井会長受講
- 8 消防管理計画書を所轄消防署に提出
- 9 62年度購入物品 車椅子、ハンディシャワー、その他看護用品
  - ◇ 購入図書 保健医療行動計画の実践(全15巻)
  - 日本国会百年史(上・中巻)

### 寄贈図書、集録

(改訂版)小児看護シリーズ(2)新生児、未熟児の看護

吉武香代子、常葉 恵子、  
田島香代子

(改訂版)小児看護シリーズ(3)小児外科の看護

腎疾患患者の看護

平山朝子、若葉キミ、山岸春江

看護で使うアメリカことば

中西 睦子

地域における保健業務の具体的な実践

日本看護協会出版会

社会のなかの看護

清水嘉与子

吾亦紅

阿部 初枝

看護関係統計資料

日本看護協会出版会

第74回国家試験問題解答集

◇

第18回日本看護学会集録

◇

ひとすじに生きる－上村聖恵追悼集

上村久壽彦、望月 弘子

## 10 千葉県及び関係機関からの委員の委嘱

千葉県保健医療計画審議会委員

赤 井 つ る

千葉県高令者サービス総合調整推進会議委員

浅 野 花 子

千葉県民間医療看護対策委員会委員

浅 野 花 子

千葉県中央保健所老人保健連絡協議会委員

森 と く

千葉県母性衛生学会理事

赤 井 つ る

千葉県痴呆性老人問題研究会委員

赤 井 つ る

千葉県婦人問題懇話会委員

實 川 美 奈

千葉県民の看護婦選考委員会委員

赤 井 つ る

船橋市婦人問題懇話会委員

浅 野 花 子

千葉県小児保健協会理事

赤 井 つ る

高 木 キ ク

湊 久 代

北 村 よし乃

## 昭和63年度事業

### I 保健知識の普及に関する事項

- 1 第15回看護大会（県・日助と共催） 千葉県看護会館 昭和63年11月11日（金）  
標語「みとる手に心をこめて触れてみる」 参加者 395名
  - (1) 知事表彰（看護功労賞10名、看護精励賞10名）
  - (2) 映画 千葉県の姿
  - (3) 記念講演 「朱鷺の愛・人間の愛」語り部歌手 高岡良樹
- 2 老人看護月間行事（千葉県支部と共催） 千葉市中央公園 昭和63年9月17日（土）  
テーマ「みとる手に心をこめて触れてみる」
  - (1) 実演コーナー 体力測定 腰痛体操 家庭介護法
  - (2) 相談コーナー 健康相談 看護相談
  - (3) 展示コーナー 家庭看護用品展示
- 3 地域住民対象の看護活動 各地区における健康相談 看護実演等を担当
- 4 千葉市主催のヘルスパイオニア事業に協力
- 5 電話相談事業
  - (1) 赤ちゃん電話相談
  - (2) 老人看護電話相談
- 6 各県看護協会との資料・情報交換
- 7 他団体主催の講習会に講師派遣
  - (1) 社会福祉協議会主催 家庭奉仕員講習会（150時間）講師派遣
  - (2) 婦人就業援助センター主催 ホームヘルパー 講習会（105時間） 講師推薦
- 8 「いのちの電話」募金に協力
- 9 第10回千葉県民の看護婦表彰（3名）千葉サンケイ新聞社主催
  - 表彰者 小 池 フミエ 千葉市立桜木園
  - 川 島 み ち 八街総合病院
  - 岩 浪 キヨノ 萩原病院

### 2 訪問看護事業

- (1) 厚生省委託、訪問看護婦講習会実施（120時間）（昭和63年9月1日～30日）  
訪問看護等在宅ケア総合推進モデル事業実施に先立ち松戸市において開催された。
- (2) 第6回訪問看護従事者講習会実施（昭和63年12月5日～6日）  
（第7回から（平成元年）現任者講習会と改称する）

### 3 ナースバンク事業

- (1) ナースバンク登録者カードの整理
- (2) 未就業看護職員に対する登録の呼び掛け（県民だより 市町村広報等）
- (3) 保健所、市町村 各病院にリーフレット配布
- (4) 看護職員需要調査（5年計画の2年目）
- (5) 潜在看護婦講習会（千葉、松戸地区でそれぞれ5日間実施）
- (6) 「ナースバンクだより」の発刊（63. 9月、平成元. 3月）

### 4 無料職業紹介事業

- (1) 看護婦等求職者に対し、求職票の就業希望条件にそって面接及び電話相談を行い、求人側に紹介
- (2) 看護婦等の求人者に対し、求人票に雇用条件を記載して貰い、面接及び電話相談により、求職者を紹介
- (3) 運営の円滑を図るため、求人者、求職者の登録票を整備

### 5 教育事業

目標 63年度は、現場の問題への対応能力を高めることにより地域住民によりよい看護を提供することを目標とした。

- (1) 社会のニーズに対応し得る看護の実践能力を養う
- (2) 専門職業人としての自己啓発の動機づけをし、看護の質の向上を図る  
地域看護、成人看護、母性看護（2回に分けた）、小児看護、訪問看護、看護研究発表会、保健婦業務検討会を終了した。

### 6 看護進路相談事業

実施3年目を迎え各高校に浸透してきた、各地区支部で開催する進路相談会は時期的距離的な面から利用度が高い。尚本年は施設見学希望者に対して全面的に対応した。

### 7 広報出版事業

会報「看護ちば」3回発刊。総会予告号 1回発刊。

（第18号 昭和63年8月）（第19号 昭和63年10月）（第20号 平成元年2月）

### 8 運営管理に関する事項

#### 1) 組織運営

- (1) 知事夫人を名誉会員とすることの決定（昭和63年度通常総会において承認）

- (2) 現行内規について見直しを行う
- (3) 理事更新により法務局に届出
- (4) 会　　議　　通常総会　1回　　理　　事　　会　11回　　役　　員　　会　　9回  
訪問看護事業委員会　10回  
各種事業担当者会議

## 2) 会館管理

- (1) 日本自転車振興会最終監査　昭和63年6月3日
- (2) 正味財産登記の変更　479,426,828円(2,755,470円)
- (3) 固定資産税及び都市計画税減免措置(税額3,238,000円を1,618,700円に減額)
- (4) 経友会(大嶋会計事務所関与組織)の優秀経理担当者として  
事務員　鎌田順子氏　表彰
- (5) 63年度購入物品　ショーケース(介護用品展示用)  
　　　　　　　　　　〃　　　　　マイク一式
- 63年度購入図書　臨床看護医学(全18巻)  
　　　　　　　　　　明治大正ニュース事典(全15巻)  
　　　　　　　　　　最新保健医療行動の実践(全15巻)
- 寄贈物品　　　　　リモコン式意思表示器(朝日新聞東京厚生文化団)
- 寄贈図書　　　　　看護の継続性と訪問看護、母子衛生の主なる統計看護の定義と  
　　　　　　　　　　概念  
　　　　　　　　　　看護の安全性と法的責任(全10集)看護とはなにか、看護とは  
　　　　　　　　　　だれか  
　　　　　　　　　　ヴァージニアヘンダーソン論文集(増補版)女性とストレス  
　　　　　　　　　　生命倫理  
　　　　　　　　　　各県看護協会記念誌

## 9 渉外に関する事項

- 1) 大森文子氏叙勲祝賀会に出席
- 2) 各団体落成式、看護学校式典に出席

## 10 県及び関係機関からの委員の委嘱

千葉県保健医療計画審議会委員	赤 井 つ る
千葉県痴呆性老人問題研究会委員	赤 井 つ る
千葉県母性衛生学会理事	赤 井 つ る
千葉県民の看護婦選考委員会委員	赤 井 つ る
千葉県婦人問題懇話会委員	實 川 美 奈
千葉県高齢者総合センター運営委員	實 川 美 奈
シルバーサービス懇談会委員	實 川 美 奈
千葉県中央保健所老人保健連絡協議会委員	森 と く
千葉県高齢者サービス総合調整推進会議委員	浅 野 花 子
千葉県民間医療看護対策委員会委員	浅 野 花 子
	(63年10月24日終了)
松戸市訪問看護事業専門委員会委員	浅 野 花 子
船橋市婦人問題懇話会委員	浅 野 花 子
千葉県小児保健協会理事	赤 井 つ る
	高 木 キ ク
	湊 久 代
	北 村 よし乃

## 平成元年度事業

### 1 保健知識の普及に関する事項

- 1 第16回看護大会（県・日助と共催） 千葉県看護会館 平成元年11月9日（木）  
標語 「すこやかな日々を支える看護の手」 参加者 339名
  - (1) 知事表彰（看護功労賞10名、看護精励賞10名）
  - (2) 記念講演 「生きるってすばらしい」 講師 田原 米子
- 2 老人看護月間行事 千葉市中央公園 平成元年9月15日（金）  
テーマ 「丈夫な人、そうでない人、みんなでさり気なく楽しく生活するために」
  - (1) 実演コーナー 体力測定 腰痛体操 家庭介護法
  - (2) 相談コーナー 健康相談 看護相談 参加者 194名
  - (3) 展示コーナー 家庭看護用品展示
- 3 電話相談事業
  - 1) 赤ちゃん電話相談
  - 2) 老人看護電話相談
- 4 地域住民対象の看護活動 各地区で開催する健康展等に参加協力
- 5 他機関への協力
  - 1) 千葉市ヘルスパイオニア事業における看護実演
  - 2) 県社会福祉協議会主催の家庭奉仕員講習会に講師派遣（115時間）
  - 3) 県婦人就業援助センター主催による病人介護講習会に講師派遣（105時間）
6. 第11回 千葉県民の看護婦表彰 3名  
千葉サンケイ新聞社主催

表彰者	室 岡 喜美子	東京歯科大市川総合病院
	菅 野 し げ	船橋市夜間救急診療所
	伊 藤 エツ子	鎗田病院
7. 各県看護協会と資料、情報交換

### 2 訪問看護事業

- 1 第1回訪問看護婦養成講習会実施（120時間）
- 2 訪問看護現任者講習会実施（2日間）  
（訪問看護従事者講習会を現任者講習会と改称）
- 3 訪問看護実施施設調査の集計
- 4 日本看護協会主催の訪問看護推進検討会に参加
- 5 当協会が訪問看護事業を行うための検討会を設置



### 3 ナースバンク事業

- (1) ナースバンク登録者カードの整理
- (2) 未就業看護職員に対する呼びかけ（県民だより、市町村公報等）
- (3) 未就業看護職員掘り起しのため、保健所、市町村、各病院にリーフレット配布
- (4) 看護職員需要調査（5年計画の3年目）
- (5) 潜在看護婦講習会
- (6) 離職者調査を行ない、未就業者に登録をすすめる
- (7) 看護情報センターからの免許所有者の活用について協力
- (8) ナースバンクだよりの発行（9月、3月）
- (9) 地区連絡所（東葛、南総）による未就業者看護職員の掘り起し

### 4 無料職業紹介事業

- (1) 看護婦等求職者に対し、求職票の就業希望条件にそって面接及び電話相談を行ない、求人側に紹介
- (2) 看護婦等の求人者に対し、求人票に雇用条件を記載してもらい、面接及び電話相談により、求職者にを紹介
- (3) 運営の円滑を図るため、求人者、求職者の登録票の整備

### 5 教育事業

社会のニーズに応え新しい情報知識を学び実践能力を養う目的をもって専門職業人としての自己啓発の動機づけをし看護の質の向上を計る。

地域看護、母性看護、成人看護、小児看護、看護研究発表会、保健婦業務検討会等を実施した。

### 6 看護進路相談事業

- 1 高校生に対する看護の認識を深め、より質の高い看護学生の確保につとめる
  - (1) 県内各高校にパンフレット、ポスター等配布、進路担当教諭との連絡
- 2 進路相談、施設見学学習の実施
  - (1) 担当相談員、地区支部会員の協力により高校への出張、相談会の開催、医療施設の見学実習に応じた

### 7 広報出版事業

会報「看護ちば」3回発刊。 総会予告号1回発刊

（第21号 平成元年7月）（第22号 平成元年12月）（第23号 平成2年2月）

## 8 運営管理に関する事項

### 1. 組織運営

#### 1 組織統合に向けての検討

- (1) 日本看護協会と県看護協会の連携の方法について県担当官の意見をきく
- (2) 統合に対しての基本的な考え方をまとめて理事会意見として日本看護協会に提出する
- (3) 日本看護協会より示された改正案について会員の検討結果を提出する
- (4) 県看護協会と日本看護協会千葉県支部との問題について検討する

#### 2 理事1名退任による届出を県法務局に提出

#### 3 地区支部運営の支援

#### 4 被表彰者の推せん

#### 5 運営に関する会議

通常総会 1回

理事会 12回

役員会 13回

各事業運営会議

### 2. 会館管理

- 1 第1回の千葉市優秀建築賞受賞（平成元年4月10日）
- 2 正味財産登記の変更 491,954,253円（479,426,828円）
- 3 固定資産税及び都市計画税減免措置 3,167,200円を1,583,700円
- 4 入会金制度の発足（平成元年度から施行）
- 5 平成元年度購入物品 スクリーン、テレビ、ビデオデッキ
- 6 平成元年度購入図書 社会福祉士養成講座（15巻） 介護福祉士養成講座（14巻）  
看護教育カリキュラム、看護学大辞典、厚生白書 これからの在宅ケア 在宅ケアの社会学 看護MOOK（18巻）  
リハビリテーション医学全書（15巻） 新臨床看護学大系（6巻） 公衆衛生実践シリーズ（2） 訪問看護 薬学大辞典 社会福祉六法  
6）平成元年度寄贈図書 ケアの受け手と看護（調査看護基礎調査死を学ぶ 保助、看護国家試験問題解答集 日本看護協会史4号 生活行動援助の文献集II 看護白書 コミュニケーション 看護実践から看護研究へ 現代看護の探究者たち 看護法令要覧 大きく翔べ協会史 現代アメリカ看護（4巻） シシリーソングラス 小児看護シリーズ等

## 8 渉外に関する事項

- 1 千葉県婦人の海外派遣（婦人のつばさ）に大塚清子氏（千大病院）参加  
アメリカ、 カナダ（9月21～30日）
- 2 関係団体への後援
  - (1) 歯の衛生週間
  - (2) 地域ぐるみ福祉ネットワークづくり
  - (3) 栄養改善大会
  - (4) 世界エイズ、デイ千葉
  - (5) 民間医療研修会
  - (6) 「いのちの電話」

## 9 千葉県及び関係機関からの委員の委嘱

千葉県保健医療計画審議会委員	赤 井 つ る
社会福祉法人千葉「いのちの電話」評議員	赤 井 つ る
千葉県痴呆性老人問題研究会委員	赤 井 つ る
千葉県母性衛生学会理事	赤 井 つ る
千葉県ナースバンク事業運営委員会委員	赤 井 つ る
千葉県民の看護婦選考委員会委員	赤 井 つ る
千葉市保健医療実態調査委員	湊 久 代
千葉県婦人問題懇話会委員	實 川 美 奈
千葉県高齢者総合相談センター運営委員	實 川 美 奈
千葉県開発審査会委員	實 川 美 奈
千葉県高齢者サービス総合調整推進会議委員	浅 野 花 子
千葉県民意調査委員会委員	浅 野 花 子
千葉県小児保健協会理事	赤 井 つ る
	高 木 き く
	湊 久 代
	北 村 よし乃

## 平成2年度事業

### I 保健知識の普及に関する事項

- 1 第17回看護大会（県・千看協・日助共催）千葉県看護会館、平成2年11月8日（木）  
標語 「すこやか人生看護がおとも」
  - (1) 知事表彰（看護功労賞10名、看護精励賞10名）
  - (2) 記念講演「プロのテクニック・アマチュアのハート」  
講師 NHK解説委員 田畑 彦右衛門
- 2 老人看護月間行事（支部と共催）千葉市中央公園 平成2年9月29日（土）  
テーマ「すこやか人生 看護がおとも」 参加者 310名  
実演コーナー 体力測定 腰痛体操 家庭介護法、相談コーナー、展示コーナー等開設
- 3 地域住民対象の看護活動
  - (1) 船橋地区支部と共催「お元気ですか あなたの健康を守るナーシングフェア」  
平成2年9月15日（土）西武デパート船橋店に於いて開催
  - (2) 各地区で開催される健康まつり、健康展等に地区支部が協力参加し看護実演、健康相談等を担当する。
- 4 関係団体との協力
  - (1) 千葉市主催のヘルスパイオニア事業に協力 看護実演等担当
  - (2) 県社会福祉協議会主催の家庭奉仕員講習会（介護関係155時間）講師派遣
  - (3) 県婦人就業援助センター、ホームヘルパー講習会（介護関係105時間）講師派遣
- 5 看護婦確保対策
  - (1) 県知事に東葛地区に県立看護学校設置を要望し、県の平成3年度からの「さわやかハートちば5カ年計画」に設置されることが位置づけられた
  - (2) 帝京平成短期大学看護学科（市原市）の学生定員増について文部大臣宛意見書提出、順天堂医療短期大学専攻科（助産科）設置について文部大臣宛意見書提出
- 6 電話相談事業
  - (1) 赤ちゃん電話相談
  - (2) 老人看護電話相談
- 7 第12回千葉県民の看護表彰（3名）  
千葉サンケイ新聞社主催  
表彰者 阿久津 マサ子 松戸市立病院  
鈴木 すみ子 千葉市立病院  
岩橋 一子 京友会病院  
本表彰は今回が最終回となった。

## 2 ナースバンク事業

- (1) ナースバンク登録者カードの整理
- (2) 未就業看護職員に対する呼びかけ（県民だより、市町村広報等）
- (3) 未就業看護職員掘り起こしのため、保健所、市町村、各病院等にリーフレット配布
- (4) 看護職員需要調査（5年計画の4年目）
- (5) 離職者調査を実施、未就業者の登録をすすめた
- (6) 潜在看護婦講習会を実施（県下4カ所）
- (7) 看護情報センターからの免許所有者の活用について協力
- (8) ナースバンクだよりの発行（9月、3月）
- (9) 地区連絡所（東葛、南総）による未就業看護職員の掘り起こし

## 3 無料職業紹介事業

- (1) 求職者に対し、就業希望条件にそった面接相談及び電話相談を行い、求人例に紹介
  - (2) 看護職の求人者に対し、雇用条件等を面接相談及び電話相談をし、求職者を紹介
- 以上、1）、2）の事業の円かつ運営を図るため求人者、求職者の登録票の整備及び管理を行った

## 4 教育事業

社会のニーズに対応しうる看護の実戦能力を養い、専門職業人としての自己啓発の動機付けをし、看護の質の向上を図る

母性看護、看護研究、成人看護、地域看護、小児看護、看護研究発表会、保健婦業務検討会を実施した。

## 5 看護進路相談事業

- 1 高校生に対する看護の認識を深め、より質の高い看護学生の確保につとめる
  - (1) 県内各高校にパンフレット、ポスター等配布、進路担当教諭との連絡
  - (2) 高校から依頼により学校に出向き看護進路説明及び相談を実施する

### 2 進路相談、施設見学実習の実施

担当相談員による相談、地区支部会員のご協力による地区支部単位の相談会の開催、医療施設の見学学習に応じた

## 6 訪問看護事業

- 1 第2回訪問看護婦養成講習会実施（120時間）
- 2 訪問看護現任者講習会 2日間（県保健予防課と共催）
- 3 訪問看護状況の実態調査準備（地域、施設）
- 4 日本看護協会主催の訪問看護推進検討会に参加

## 7 広報出版事業

1. 会報「看護ちば」3回発刊 総会予告号 1回発刊。  
（第24号 平成2年7月）（第25号 平成2年12月）（第26号 平成3年3月）  
第24号より可憐なナースの表紙を四季折々の草花に改めた。カラーになって一段と明るく生れかわった。（青井寿恵子氏の写生画より）
2. 「救急カットバン」を作成し、協会事業、地区活動をとおり社会に看護のPRを行う。

## 8 運営管理に関する事項

1. 組織運営
  - 1 日本看護協会組織改正に伴う県看護協会組織の検討
    - (1) 定款細則等委員会を設置し、組織及び内規の検討を行う
    - (2) 日本看護協会から提案された日本看護協会組織改正による県看護協会との関連について会員検討結果の報告
  - 2 会員代表者会の開催により組織運営の円滑化を図った
  - 3 地区支部運営の支援
  - 4 組織運営に関する会議

通常総会	1回
理事会	10回
役員会	10回
各事業運営会議	
- 5 会館管理
  - (1) 正味財産登記の変更 513,397,805円（491,954,253円）
  - (2) 固定資産税及び都市計画税減免措置 2,805,600円を1,401,800円
  - (3) 平成2年度購入備品 ビデオプレゼンター、スライド映写機、コンピュータープリンター

## 9. 渉外に関する事項

- 1) 千葉県婦人の海外派遣(婦人のつばさ)アメリカ・カナダ、9月21日～30日に  
大野律子(北習志野花輪病院)、伊藤幸子(葛南病院附属看護学校) 2名が参加する
- 2) 看護学校等の式典に出席及び祝電
- 3) 関係団体への後援等
  - (1) 千葉D I T N糖尿病教育担当者セミナー
  - (2) 歯の衛生週間、千葉県歯科保健大会
  - (3) ガン制圧月間、ガン予防展、講演会
  - (4) 千葉県栄養改善大会

## 10. 千葉県及び関係機関からの委員の委嘱

千葉県保健医療審議会委員	赤	井	つ	る
千葉県ナースバンク事業運営委員会委員	赤	井	つ	る
「健康で明るい県民運動」千葉県推進協議会委員	赤	井	つ	る
千葉県地域ぐるみ社会福祉懇談会委員	赤	井	つ	る
千葉市保健医療福祉サービス総会調整推進会議委員	赤	井	つ	る
千葉市地域医療協議会保健医療計画策定小委員会委員	赤	井	つ	る
千葉県母性衛生学会理事	赤	井	つ	る
千葉県民の看護婦表彰選考委員会委員	赤	井	つ	る
千葉「いのちの電話」評議員	赤	井	つ	る
千葉県婦人問題懇話会委員	實	川	美	奈
千葉県高齢者総合相談センター運営委員会委員	實	川	美	奈
千葉県難病対策協議会委員	實	川	美	奈
千葉県開発審査会委員		實	川	美 奈
千葉県高齢者サービス総合調整推進会議委員	實	川	美	奈
千葉県医師会看護問題研究委員会委員	實	川	美	奈
千葉県小児保健協会理事	實	川	美	奈
	野	田	美	保子
	木	田	も	と
	洪	谷	禎	子

## 平成3年度事業

### I 保健知識の普及に関する事項

#### 1 「看護の日」事業

- (1) 第1回看護の日中央行事（平成3年5月14日）  
千葉県・千葉県医師会・千葉県看護協会共催  
標語「看護の心をみんなの心に」
- (2) 例年看護大会で行った知事表彰を「看護の日」に行うこととした。  
知事表彰（看護功労賞10名、看護精励賞10名）
- (3) 「看護の日」記念作文コンクール、厚生大臣表彰  
看護学生 島田 潤及 成田赤十字看護専門学校  
一般の部 小林 初江 松戸市在住主婦
- (4) 看護フォーラム 司 会 NHK解説委員 行 夫 良 雄 先生  
医療の立場から 旭中央病院院長 諸 橋 芳 夫 先生  
看護職の立場から 千葉リハビリテーションセンター  
宮崎やす子先生  
看護を受ける立場から 作家 中島 みち先生
- (5) 地区部会行事 12地区部会29カ所で「看護の日」啓蒙活動を展開する  
(資料53頁参照)

- 2 「県民の日」行事に参加 6月15日（土）16日（日）於幕張メッセ  
「看護協会コーナー」設置（血压測定、健康相談、介護相談等実施）

参加者1688名（2日間）

- 3 老人看護月間行事 9月14日（土）千葉市中央公園で実施予定したが台風のため実施できなかった。
- 4 地域住民対象の看護活動  
船橋地区部会主催のナーシングフェア・各地区で開催される健康まつり・健康展等に地区部会が参加協力し、看護実演、健康相談等の活動を実施した。
- 5 関係団体への協力
  - (1) 千葉市主催のヘルスパイオニア事業に協力 看護実演等を実施
  - (2) 県社会福祉協議会主催の家庭奉仕員講習会に講師派遣
  - (3) 県婦人就業援助センター主催のホームヘルパー講習会に講師派遣
- 6 電話相談事業
  - (1) 赤ちゃん電話相談
  - (2) 老人看護電話相談



## 2 ナースバンク事業

- 1 ナースバンク登録者カードの管理
- 2 未就業看護職員に呼びかけ（県民だより、市町村広報等）
- 3 未就業看護職員を掘り起こすため保健所、市町村、各病院等にリーフレット配布
- 4 看護職員需要調査（5年計画の5年目）
- 5 離職者調査を実施、未就業者の登録をすすめる
- 6 潜在看護婦講習会を実施（県下7カ所）
- 7 看護情報センターからの免許所有者の活用依頼について協力
- 8 ナースバンクだよりの発刊3回（8月、12月、3月）
- 9 地区連絡所4カ所（柏・木更津・佐倉・船橋）で未就業看護職員の掘り起し、相談対応

## 3 無料職業紹介事業

- 1 求職者の就業希望にそった面接相談及び電話相談を行い、求人側に紹介
- 2 看護職の求人者に雇用条件等で面接相談及び電話相談をし、求職者を紹介  
以上、1・2の事業の円滑運営を図るため求人者、求職者の登録票の整備及び管理を行った。

## 4 看護進路相談事業

- 1 高校生に対する看護の認識を深め、質の高い看護学生の確保につとめる。
  - (1) 県内各高校にパンフレット、ポスター等配布、進路担当教諭との連絡
  - (2) 高校からの依頼により学校に出向き看護進路説明及び相談を実施する。
- 2 進路相談、施設見学実習（一日看護婦）の実施
  - (1) 担当相談員による面接、電話相談
  - (2) 地区部会単位の相談会の開催、医療施設の見学実習（1日看護婦）の実施

## 5 教育事業

会員の資質の向上を図り社会ニーズに対応できる能力と専門性を養う。  
老人看護、精神看護、看護研究、教育企画検討等の研修会を実施した。  
尚、県受託事業として周産期看護研修、小児看護研修、成人看護研修、地域看護研修及び保健婦業務検討会、看護研究学会を実施し、各地区部会に於ける研修会も実施終了した。

## 6 訪問看護事業

- 1 第3回訪問看護婦養成講習会実施
- 2 訪問看護現任者講習会実施
- 3 訪問看護の実態調査実施（地域及び施設）
- 4 訪問看護ステーション開設について検討  
（県医師会と連携調整の会議を持つ）
- 5 日本看護協会主催の訪問看護推進検討会に参加  
（訪問看護ステーション検討）

## 7 看護制度等に関する事項

- 1 看護制度委員会設置
- 2 専門看護婦制度の試案の検討  
会員代表者会における研修のテーマとしてとりあげる。  
講師 北里大学看護学科教授 池田 明子先生

## 8 広報出版事業

- 会報「看護ちば」3回発刊。号外総会予告号1回発刊。  
（第27号 平成3年7月）  
（第28号 平成3年11月）  
（第29号 平成4年3月）

## 9 運営管理に関する事項

- 1 組織運営
  - (1) 日本看護協会組織改正に伴う県看護協会組織及び定款等の検討
  - (2) 役員選出規程の作成及び推せん委員会の設置
  - (3) 細則の作成
  - (4) 会員代表者会2回開催、組織運営の円滑化を図る
  - (5) 地区部会運営の支援
  - (6) 組織運営に関する会議  
通常総会 1回  
理事会 11回  
役員会 10回  
各事業運営会議、地区部会長会

## 2 会館管理

- (1) 正味財産登記の変更 526,655,754円 (513,397,805円)
- (2) 固定資産税及び都市計画税減免措置 (2,805,600円を1,402,800円に減免)
- (3) 平成3年度購入備品 小会議用テーブル、椅子8脚(講師控室)カセットコーダー
- 4 平成3年度購入図書 新臨床看護学全書、看護雑誌平成2年・3年発行分を整備、昭和ニュース事典2巻
- 5 平成3年度寄贈図書 看護覚え書、死の中の笑み、その他個人、団体、他県等24件

## 10 渉外に関する事項

- 1 千葉県知事に要望書提出(平成3年9月27日)
  - (1) 看護に対する県行政の取組について
  - (2) ナースセンター(ナースバンク会館)の建設について
  - (3) 訪問看護講習会の知事認定について
  - (4) 教育事業委託金を補助金に切替えることについて
  - (5) 訪問看護キーステーション運営の助成にについて県に要望(平成3年11月8日)
  - (6) 看護職員知事表彰者の推薦について県衛生部長に要望(平成4年1月8日)
- 2 千葉市長に要望書提出(平成3年11月1日)  
訪問看護ステーションの開設について運営費補助の要望
- 3 千葉県婦人の海外派遣(婦人のつばさ アメリカ合衆国10月17日~27日 11日間  
村田 章子(佐倉市役所)、川井 文子(亀田看護専門学校 2名参加する。)
- 4 千葉県及び関係団体等の理事、委員の委嘱受託協力
- 5 関係団体への後援、協賛等
  - (1) 歯の衛生週間、千葉県歯科保健大会
  - (2) 平成3年度地域ぐるみ福祉まちづくり推進月間
  - (3) ガン制圧月間、ガン予防展、講演会
  - (4) 千葉県栄養改善大会
  - (5) 母性保健指導センター

## 11. 千葉県及び関係機関からの理事、委員等の委嘱

千葉県保健医療審議会委員	赤井つる
千葉県ナースバンク事業運営委員会委員	赤井つる
	森とく
「健康で明るい県民運動」千葉県推進協議会委員	赤井つる
千葉県高齢者憲章策定懇談会委員	赤井つる
財団法人 千葉県ヘルス財団理事	赤井つる
財団法人 千葉県長寿ふれあいセンター理事	赤井つる
千葉市保健医療福祉サービス総合調整推進会議委員	赤井つる
千葉市地域医療協議会保健医療計画策定小委員会委員	赤井つる
千葉県母性衛生学会理事	赤井つる
ちば興銀看護学生奨学金制度評議員	赤井つる
千葉「いのちの電話」評議員	赤井つる
千葉県婦人問題懇談会委員	實川美奈
千葉県高齢者サービス総合調整推進会議委員	實川美奈
千葉県高齢者総合相談センター運営委員会委員	實川美奈
千葉県難病対策協議会委員	實川美奈
千葉県開発審議会委員	實川美奈
千葉県建築審議会委員	實川美奈
千葉県生涯学習推進センター(仮称)等 複合施設基本構想検討委員会委員	實川美奈
高齢期における学ぶ機会のあり方を考える懇談会委員	實川美奈
千葉県医師会看護問題研究委員会委員	森とく
千葉県小児保健協会理事	赤井つる
	野田美保子
	浜野孝子
	渋谷禎子